

2022年春季 第54回実用イタリア語検定IBT アンケート結果

今回は初めての試みとしてオンラインで実施しました。試験期間は3月13日から20日までの8日間とし、ご都合の良い時間帯に受験していただきました。

インターネットやパソコンをご利用になれない方々から受験機会を奪うことになってしまったのは心苦しい限りですが、存続の危機から脱し借入金を返済するためには、巨額の会場使用料や運営費を無くす必要がありました。

試験後、公式サイトでアンケートを募集しましたので、その結果をここにご報告いたします。

アンケート内容

- 問1 受験した級をお教えてください。(複数回答可)
- 問2 今回受験した場所(都市名)をお教えてください。
- 問3 パソコンや通信回線に問題なく、スムーズに受験できましたか。
- 問4 パソコンなどの操作は容易でしたか。
- 問5 問題の表示方法などで、改善すべきだと思われる点があったらお教えてください。
- 問6 会場で受ける紙の試験と比べて、受験し辛かった分野や設問はありますか。
- 問7 会場で受ける紙の試験と比べて、受験し易かった分野や設問はありますか。
- 問8 カンニングなどの不正行為はどの程度あったとお考えですか。
- 問9 オンライン試験にすることにより、検定試験としての信頼性が損なわれたとお考えですか。
- 問10 その他、ご感想やご希望があったらお書きください。

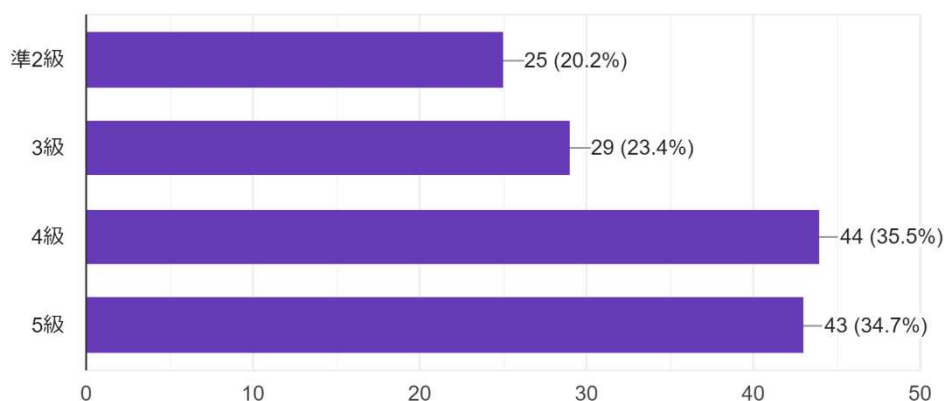
124名の方から回答が寄せられました。会場でのこれまでのアンケートと異なり、記入時間に余裕があったせいか、とても丁寧な回答をしていただけました。ご批判は真摯に受け止め、皆様のご意見を次回の運営や画面表示、事前のマニュアルの改善などに可能な限り活かしていきたいと思っています。

かなり大量の内容となりますが、貴重なご意見大部分をそのまま、以下にご紹介いたします。なお、[青字](#)で記載した部分は事務局からの回答です。

問1 受験した級をお教えてください。(複数回答可)

問1 受験した級をお教えてください。(複数回答可)

124件の回答



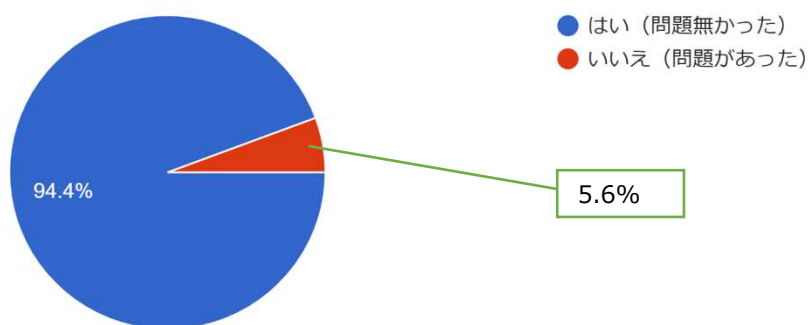
問2 今回受験した場所（都市名）をお教えてください。

回答が非常に多岐にわたるため、ここに詳細を記載するのは控えさせていただきますが、イタリアを含む海外から、また、会場から遠い地域にお住いの方が目立ち、オンラインならではの結果となりました。

問3 パソコンや通信回線に問題なく、スムーズに受験できましたか。

問3 パソコンや通信回線に問題なく、スムーズに受験できましたか。

124 件の回答

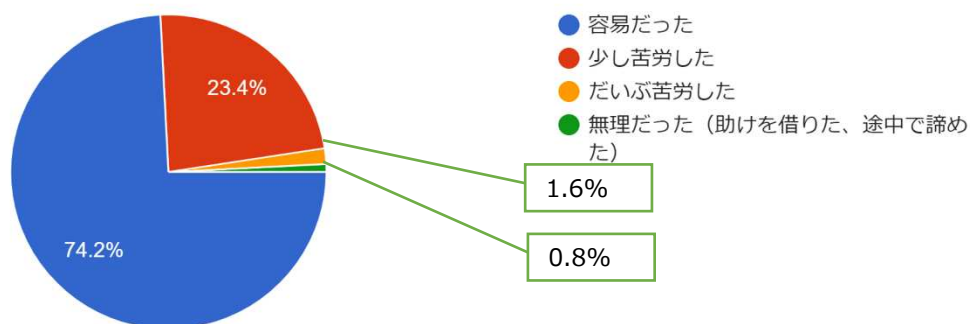


概ね問題なく受験いただけたようですが、機材や使用アプリ、回線に問題があったせいか、ご苦労な去った方も見受けられました。不調に遭遇した場合の対処方法を検討・確認いたします。

問4 パソコンなどの操作は容易でしたか。

問4 パソコンなどの操作は容易でしたか。

124 件の回答



苦労された方が 1/4 ほどおられました。今後、表示サイズの変更方法や画面の操作方法について、詳しいマニュアルを整備いたしますが、インターネットへの接続方法やブラウザ、マウスなどの基本的操作方法は事前に習得しておいていただけると嬉しいです。

問5 問題の表示方法などで、改善すべきだと思われる点があったら教えてください。

リスニングの絵の表示の大きさを変えられるようにしてもらえると、より見やすくなると思います。

スクロールするのは、少し面倒。絵や選択問題など一度に見られる紙はその点では見やすい。

危うくチェック漏れしそうになった問題もあったが、紙なら一目で無チェックのものを確認できる。

最後の筆記問題でイラストを見ながら文章を書くことができなかった。絵が少し大きすぎたと思います。

リスニングの問題における、イラスト4択問題が大きくて一画面に全部が収まりませんでした。スクロールしながら聞きましたが、右手でスクロールすると右手でメモを取ることができずに不便を感じました。問題イラスト画面と解答ボタン画面が縦に分割されていて、右側の解答ボタン画面は文字の縮小等ができましたが、左側イラスト画面の方は大きさを変えられなかったため、出来るようになればよいと思います。
スクロールしなければ見られないのは、やり難い。それぞれの問題が一ページ完結で願いたい。
画面をスクロールしなくてもいいようにしてもらいたい。4画面同時表示。
リスニング問題で、回答選択肢がスクロールしないと全部表示されない点。問題と回答が一画面で表示される方がよいと思いました。
絵を見て答える問題は、全ての絵が画面移動無しに見られるようにしてほしい
リスニングの絵が大きすぎてスクロールを何度もする必要があった
作文の入力画面と問題文をスクロールせずに見えるようにしていただきたいです。
画面の下部が切れていたため、途中でコントロールキーを使い縮小して表示をした。 問題と解答が分かれてスクロールできたが、ヒヤリングが特に時間との戦いだったので、問題を解きながら画面の見えづらさも気にしないといけなかったため、慣れなかった。
リスニングの1つの問題中にある4つの図がPCの画面の収まらず、スクロールしながら解答していくことになり、煩わしかった。4つの図がPCの1画面におさまるようにしていただくと、問題に集中できる。
イラストの見え方はデモ画面での確認がとても大切だと思った。
➡ 上記のような「イラストが大きすぎて、スクロールして解答するのが大変だった」という趣旨のご意見が69件の回答中、38件寄せられました。従来の紙試験では「イラストが小さくて見づらかった」というご意見が目立ちましたので、イラストを大きく表示しました。しかし、ちょっと大き過ぎたようですね。次回は改善いたしますが、本当に、本当に1画面に4コマ表示するほど小さくしてもよろしいですか？それはそれで「画が小さくて判別しにくかった」というご意見（＝クレーム）が多く寄せられるでしょう。問題の構成上、将来も、幾つかの問題ではスクロール操作は避けられない見込みです。 画や文字を簡単に縮小・拡大して表示する方法がありますので、次回はそのやり方をHPで事前に丁寧に説明する予定です。
リスニングの時に、回答を終えた後、終わりを待たずに次の問題にいけるといいなと思いました ➡ 「次へ」ボタンを設ける以上、「戻る」ボタンも必要になります。しかし、戻っても聞き直せない機能を実装することができません。
筆記試験最後にて、試験終了を押しただけなのか、そのまま時間終了まで待たばいいのか少し迷いました。残り時間が1分とかだったので…。どちらでも大丈夫だったんですね？少し焦りました。 ➡ 試験終了は文字通り「試験終了」ですので、押しいただいても構いません。しかし、戻って再受験することは絶対にできません。
ヒヤリング問題が戻れないのは不公平 ➡ 紙試験でも戻る（聞き直す）ことはできません。オンライン試験は全員同じ受験方式です。どこが不公平なのでしょう？
リスニングで残りまだ5秒ほどあったけど、終了し次の問題へと自動的に移った。問題解き終えてたので大丈夫でしたが、何回かそういう事がありました。 ➡ 次の設問に移行するまで15～25秒以上のポーズを設定しています。恐らく、通信回線の速度が低かったため、音声の読み込みに想定以上の時間がかかってしまったのだと思われます。次回は、もっとポーズ時間を長くします。
リスニングの時間制限に気付かず、最初の問題を回答出来なかった。後から回答も出来なかったため、もう少しわかりやすい方が有り難かったです。 ➡ 残り時間（経過時間）が表示されていたかと思いますが、次回は事前マニュアルにもっと丁寧に記載します。（読んでいない方がとても多いのですが…）
そもそもこちらの語学力不足のせいなのですが、リスニングの一問目がまとめて4問解答と気が付かず、一問ずつ質問がくるのかと勘違いしていたら解答する前に次の問題に切り替わり、いきなり未回答でまとめて失点してしまいました。そのような方が他にもいるのではないかなと少し気にはなりました。 ➡ 公式サイトには、うんざりするほど（笑）大量に過去問題を掲載していますので、本場で慌てないよう、受験前にぜひ一通りやってみていただきたかったです。学習の参考になりますので、今からでも、ぜひやってみてください！
注意書きを前もって読まなかった私がいけなかったのですが、リスニングを全部しないうちに誤って試験終了のボタンを押してしまい、全部のリスニングを解けずに終了してしまいました。 ➡ それは残念でした！次回は事前マニュアルにもっと丁寧に記載します。（読んでいただけない方がとても多いのですが…）
特にありません。Macで受験したので少し心配しましたが、非常にスムーズに試験を受けることができました。 ➡良かったです！でも、Macの利用はどうか自己責任でお願いいたします。
筆記問題の制限時間が作文まで通じたので、パートごとにも制限時間を設けた方がより不正を防げるのではないかと思います。 ➡ それはそれで「時間が余った or 足りなかった」という声が多く上がるかと思いますが、また、試験システムを別途追加で構築する必要があり、多額の費用もかかります。紙試験とできる限り同じ方式にするためにも、現状でご了承ください。

終了ボタンを近くに置かないでください。意図せず押ししまいました…何とかかなりでしたが…左上とか右上とか、おそらくカーソルが動かないだろうゾーンがうれしいです。PC操作にはそれなりに慣れていますが…これで終了になったらイタリア語検定嫌いになったと思います。

➡ 伊検に最適のシステムをゼロから構築する資金はとてありませんので、既存のシステムをカスタマイズして立ち上げました。このボタンは標準仕様のため、撤去できませんでした。予算に余裕ができれば、将来撤去を検討します。なお、このボタンについての注意喚起方法は次回以降工夫・改善いたします。

会場だったら試験時間中に試験監督がすべて注意事項を言う。試験開始前に見るブリーフィングページを挿入していただくと嬉しいです。

➡ 開始直前に読むには余りにも長文となってしまいます。また、音声で流しても10分以上となり、嫌われるでしょう。事前のマニュアル類の整備に努めます。

イタリア語検定の「威信」を保つためにもむしろ、通常と同じように決められた日の受験にしたほうがよいかと思いました。試験実施期間を長くしたのは受験者人数確保の意味もあったのだとしたら、長くしたところで受ける人はそれほど変わらないと思います。英語と違って基礎教育のある言語ではないので…。

➡ はい、時差のある海外受験者も含め、受験者数の最大化が目標でした。同時開催にすれば問題漏洩の可能性は無くなりますが、サーバー・ダウンの危険性と向き合わなくてはなりません。

私自身が受験を迷ったのは、期間が長くてカンニングし放題っぽいところ。それによって平均点が荒らされる懸念でした。そんな人々と受ける可能性があるのか…と思うと複雑でした。とりあえず、カンニングするような人は時間が足りなかったでしょうからそんな人はいないか脱落したかだと個人的に思います(笑)

➡ 仰ること、誠にごもつともですし、私たちが最も悩んだことです。不正して仮初めの級を取得しても、後で恥をかくのは自分だということを考えていただきたいものです。確かに、カンニングしていたら時間切れになることは目に見えていますし。

問6 会場で受ける紙の試験と比べて、受験し辛かった分野や設問はありますか。

長文読解の箇所。会場だと、試験問題に気になる単語や部分に直接鉛筆でマーキングできるが、オンラインはそれができないので、気になる箇所がどこだったかなど見失いがちでした。

長文問題で、問題文に書き込みができないため概要をまとめるのが難しかった。

長文を読んで答える問題で、紙の試験問題だとアンダーラインを引けるのに、画面だとできず、右ページの質問を読みながら長文を読み進めることもできなかった。

自宅なので気がちょっと散りやすかったことと、長文読解が大変でした。(目で追いき) また作文は本当に頭に浮かんだものをなんとか書く程度にしかなかったです(実会場での下書きに助けられてたなと思いました)

長文になると紙の方が断然読みやすい。

メモ書きできないのが不便と感じた。リスニングの時に、1回目で正答はこれかこれだと思うときに、番号(a~d)等に2つ印をつけられない。後で見る機能があるので、そこにプラスで書き込めたり、2つ仮選択できたりすると思った。でも、慣れれば問題なくなるのでしょうか?

リーディング。書き込みを行えなかったところが受験しづらかったです。

リスニングで、問題に直接メモが出来ず意味わからなくなるので難しい気がした

書き込みができない。

問題がプリントアウトされてないので、チェックやメモがしづらかった。作文も筆記体で書けなかった分時間がかかった。

リーディング問題、画面を読みながらメモを取るのがやりづらい。

➡ 67件の回答のうち、「メモ・書き込みができなくてやり辛かった」という意見が11件、「(メモできないため)長文がやり辛かった」という意見が13件寄せられました。問題冊子にメモできない、というのはオンライン試験ならではのハードルです。他のIBT/CBT試験でメモの使用を認めている試験は極めて限られているのではないのでしょうか。カメラで監視している試験の場合も、原則としてメモ用紙の使用は禁止されています。メモ用紙の使用が許されている場合でも、テストセンターで用意した白紙か、カメラを通して確認・許可された白紙に限られます。伊検ではリスニング試験でのメモ使用を認めていましたが、次回は筆記問題でも白紙メモの使用を検討いたします。

紙の場合だと、解いている量と残り時間を比較して掴めましたが、パソコンだと問題数が上部に表示されていてもいまひとつ把握しづらかったです。

オフラインと違い先のページの問題など見ることができなかった。

リスニング終了後、解答忘れなどが無いかなど全体を見直せたらよかったと思います。

リスニングが、前の問題に戻れず、回答の修正ができなかった。

リスニングは、小問ごとの時間が決まっているため、早く解答が済んでも、紙の場合と違い、その先の問題の絵や文にあらかじめ目を通しておくことができないのがやりづらかった。

筆記も、紙の試験では、先に全体に目を通して、時間配分を考えられるが、今回は基本的に順番通りに答えなければならぬため、先が見えない感じで少し不安だった。操作に慣れていないこともあり、「進む」や「戻る」をクリックしても、画面が変わるまでの待機時間が長く感じられるというか、このままフリーズしてしまったらどうしよう、という心配は常にあった。

リスニングは戻れないのが少し厳しいと思った。迷って後で考えたい時もあります。
リスニング問題の、次の問題までのポーズ時間ですることがなかった。次の問題を確認することができないので。それと、消去法で消せる選択肢を消す、ということができないのが地味にストレスを感じました。
聞き取り問題でも、全問終了後少しの時間でよいので、全部の答えを見直して必要があれば変更できるようにしてほしい。できれば紙の問題と同じくらいの量の設問（絵を含む）が一画面でスクロールしないでも見えるようになってほしい。
リスニングは、時間が過ぎたら閉じてしまうので修正できなくて困った。最後に見返せたり、直せると良いと思った。
聞き取り問題：次に進んでしまうと後で答えを変更したくてもできなかった。ある間で時間切れと同時にボタンを押してしまい、ちゃんと解答できたかどうか不明なままだった。次の問題文がでるタイミングが決まっているため、自分のペースで時間をやりくりして先に答を読んでおくという戦略がとれないことがあった。こういった点で不慣れだったため全体に焦ってしまったと思う。
筆記問題：長文とその設問はスクロールしなければ全部を見られないのでやや面倒。下線をいれられないのも残念。
解答に迷った時に仮記入が出来ないため見直しに問題があり。 記述問題が終わった後ヒアリングの見直しをしようと思ったが見ることができなかった。 記述：問題解答で慣れないキーボードなので文章が二の次になり文章がおろそかになる。 ヒアリング：解答が複数ある場合全体が見えないため無解答欄が出来てしまった。
リスニングがやり直せないところ。紙の試験だと、あとから消して修正したり、メモしておいてあとから記入できるが、今回はできず辛かったし、正答数に影響した。
<p>➡ 67件の回答のうち、「先読みや見直しをしたかった」というご意見が30件もありました。</p> <p>筆記問題には「後で見直す」や任意の設問にジャンプできる「進捗状況」ボタンがありますので、活用していただければと思います。</p> <p>リスニング問題については1問ごとに分割された音声で再生され、所定の時間が終了すると次の問題がスタートする設計となっております。見直すため以前の画面に戻ると音声も再度再生されてしまうため、紙試験との公平さが著しく損なわれます。従って「戻る」や「見直す」機能は実装していません。また、「次へ」ボタンを間違えて押してしまった場合、前の設問に戻れないという問題（＝クレーム）が生じますので、「戻る」機能が無い以上「次へ」飛び機能は実装できません。</p> <p>「リスニング問題を見直したい」というご意見が非常に多かったのにはちょっと驚かされました。紙試験の場合も、音声は通して一度再生されるだけです。紙試験の試験方式を踏襲したかったので、聞き直すことができないようにしてあります。戻っても音声で再度再生されないようにするためには、全く別の試験問題の枠組みを各級ごとにもう一式立ち上げなくてはなりません。残念ですが、その予算は全く捻出できませんので、現状でご了承ください。</p>

<p>私はパソコンを自宅で使用できる環境ではありません。わざわざ、ネットカフェに行き受験をしました。スマートフォンで受験できるようになったら、もう少し便利かなと思いました。推奨動作環境のページにてリスニングテストを試みたところ、スマートフォンでも（少なくとも私の目には）特に問題なく動作したように見えました。確かに、誤動作や誤タップなどの問題が多そうですが…。</p> <p>受験案内のページをしてみると3月20日21:00までとの表記が。ログインページのCBTSのページには利用可能期間が3月20日23:59まで、と表記してあったため、勘違いしていました。</p> <p>幸い仕事が早めに終わり、つい先程ようやく受けることが出来ました…が、そのまま勘違いしていたら最悪試験を受けられずに…という恐ろしい可能性もありました。こちらへの明記は、少し改善の余地があるかな と思いました。</p> <p>そして、期間内の日程から空いている都合の良い時間に……。ということは、裏を返せば期間内に空いている時間がなければ受けないということに……。 (つまり、受験申込の段階で日程を決めるものだと思っていました。) 私の職場は ○○日に休みをください、といえは休みをくれる職場なのですが、「そのうち休みをくれるだろう。その時勉強をして受験しよう。」などと希望的観測で過ごしていたのですが、今回私は3月13日～3月20日まで、ほぼ休みがなく…睡眠時間も4時間、5時間というスケジュールの中でなんとか時間を削り試験勉強をしていました。つまりは、好きな日程より特定の日程を決めてほしい…という要望なのですが…おそらく、このような要望で得をする人は稀だと思います…。が、こういうケースも一応はある、ということで…。</p> <p>重ね重ねで申し訳ありませんが、大変に私事です。私のようなケースは稀でしょうが…。半分、愚痴のようなものだと思ってください。失礼いたしました。m(____)m</p> <p>➡ ご多忙のなか、受験お疲れさまでました！</p> <p>「3月20日21:00までには開始していただきたい」という意図でどのように掲示しました。次回はより明確な書き方にいたします。ただ、紙試験の場合もそうですが、遅刻者が必ず何名もいらっしゃるため、システムにはある程度余裕をもってタイマーを設定することになります。どの程度の余裕かは、申し上げることはできません（さらに遅刻する方がいると思われるからです）。</p> <p>作文の単語数が文字数になったのはいいとして、850文字ならば1000入力可能にしておいたのはなぜでしょう？ と思いました。</p> <p>➡ 量が多いほうが点数が高くなる、と勘違いしているのかもしれませんが、受験級に関わらず、毎回「沢山書く。沢山書きたい。」方が実に多くおられます。対応可能にするため、システム上の最大入力可能文字数は設問に指示されているより多くしています。システムに設定した値が画面上で自動的に差し込み表示されるため、設定値がそのまま表示されています。</p>

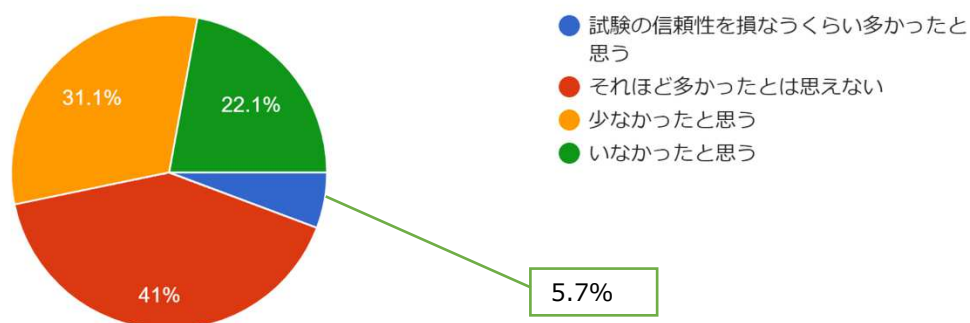
問7 会場で受ける紙の試験と比べて、受験し易かった分野や設問はありますか。

受験期間が設定され、期間中、任意の日時に受験可能な点が受験し易かった。
ほとんど会場で受けた経験がないので憶測ですが、自由に（と言ってしまうと少し語弊がありますが）席を立てたりトイレに行けたり、などが容易にできるのは良い点かなと思いました。
また、何かものを飲み食いできるのもいいですね。今回はカフェラテを飲みながら疲れた頭を癒して臨みました（笑）
家族の都合等を考えると、移動時間なしで受験できるのは助かった。
リスニング問題：各設問で残り時間が表示されるため。作文問題：字数がカウントされるため。
受験も初めてだったので、会場の受験とは比べる事は出来ないのですが、緊張せずに受験する事が出来ました。地方に住んでいるので、試験会場まで行くのに、往復で5～6時間かかるので、それを考えると今回オンラインという事で受験しました。毎回オンラインは無理と思います。数年に1回でもオンラインで実施して下さると嬉しいです。
一人なのでほかの受験者のことが気にならない。1週間の中で、自分で時間を決めて受験できたことが快適だった。
マークシートに自分で記載しなくていいので、色むらやはみ出しなどのミスが出ないのでよかったと思う。
自分の都合のよい日、時間に受けられる
回答の修正が容易でした。（紙の試験であれば消しゴムで消す必要があるところ、オンラインの試験ではブルダウンでの修正のみのため）
他人がいなくて気が散ることがなく快適
移動時間がないところ。解答速報早いし自分の解答と合わせて見れるところ。
緊張感が多少やわらげられた。
マークをしなくてもよいので、どの問題もPCのほうが受験しやすいと感じました。
他の受験者を意識せずに集中できたのはよかったと思います
➡ 上記のように、「都合よい時間に受験できた」「移動時間が無くて助かった」「修正やマーキングが簡単だった」「一人で集中できた」「リラックスして受験できた」など、全問快適に受験できたというご意見が86回答中23件ありました。
リスニングは他の人の雑音などに邪魔されず集中できた
リスニング。制限時間まで次の設問に行けないので、一点集中できました。
リスニングの音声は明瞭でした。
音源を自分で調節できることはオンラインの良さだと思う。
リスニング。周囲の環境に影響されずに良かった。自分の見やすい大きさの文字に変えられたこと。
リスニングは明らかに聞き取りやすい
リスニングは紙である必要ない
リスニングはヘッドホンで聞けたので音量の調整もできて集中もできた。
➡ 上記のように、「聞きやすかった」「集中できた」というご意見が86回答中16件ありました。
日頃、紙で読む事に慣れているので、パソコンの画面で、問題を読むのは、理解力に欠ける。作文に関しては、キーボードで入力する方が、やり易いと思う。
見直しチェックした設問にボタン一つで戻れるのが便利でした。
進行状況をまとめて把握出来るというのが良かった
筆記問題は見直しやすかった。作文は直にタイピングでき、訂正も簡単にできるので下書きがいらず楽だった。また字数が表示されるのもありがたい。残り時間の表示もよかった。
全体として、制限時間がわかりやすい。筆記問題では、もう一度考えたい問題にしおりをつけられたこと。
➡ 筆記問題は「紙のほうが理解しやすい」というご意見がありましたが、見直し機能や進捗状況を把握できる機能に高評価いただいた方は12名となりました。
作文は思っていたより書きやすかった。入力のほうが訂正や削除に時間がかからなかった。
作文は文章の手直しが楽だったと思います。消しゴムいらすず。
作文問題の文字数カウントはありがたかったです。
作文は、手書きより訂正や付け足しなどが楽にできる。
作文が、修正し易かった。音読ができるのが良かった。
作文の問題は字数が出てくるので、解きやすかったです。
➡ 作文は「手書きより書きやすかったし、修正も楽だった」「文字数カウントが助かった」というご意見が86回答中10件ありました。

問8 カンニングなどの不正行為はどの程度あったとお考えですか。

問8 カンニングなどの不正行為はどの程度あったとお考えですか。

122 件の回答

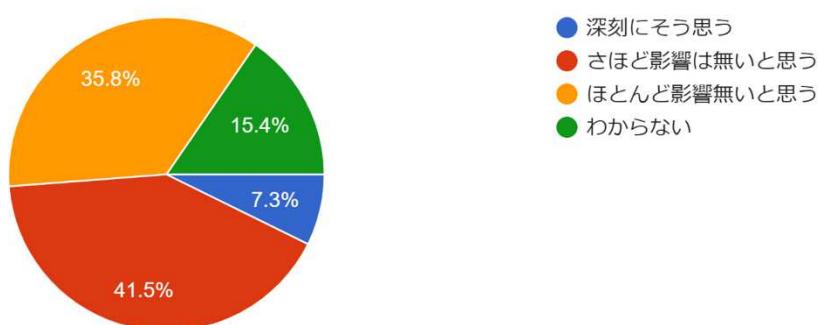


検定協会としては、この回答結果には取えてコメントを控えさせていただき、皆様のご判断に委ねたいと思います。

問9 オンライン試験にすることにより、検定試験としての信頼性が損なわれたとお考えですか。

問9 オンライン試験にすることにより、検定試験としての信頼性が損なわれたとお考えですか。

123 件の回答



上の問8と同様、検定協会としては、この回答結果には取えてコメントを控えさせていただき、世間の評価に委ねたいと考えております。今後協会内部で慎重に協議し、方向を定めてまいります。

問10 その他、ご感想やご希望があったらお書きください。

いざ試験を受けようと気合を入れてイタリア語検定試験のHPにアクセスしたのですが、どこから試験を受けられるのかわからず、かなり時間を食いました。(結果、マイページログインが必要でしたが、「WEB申込」と書いてあるので見逃しました)。試験期間が始まったら、「オンライン受験はこちらから」という目印やリンクをトップページに大きく貼って欲しいです。

➡ 開始早々、掲示板やTwitterにご指摘いただきましたので、速攻トップページなどに「受験はこちらのマイページから」というボタンを設置しました。ご指摘、有難うございました！

<p>コロナ禍の厳しい環境下、受験の機会をご提供いただき、誠にありがとうございました。感染リスクがないオンラインという方式で、安心して受験することができました。</p> <p>オンラインの形式での不正行為について、気掛かりに思いました。</p> <p>私自身は趣味でイタリア語を勉強しているなかでの受験ということもあり、不正を働こうという気には全くなりませんでしたが、必要に迫られての受験（学校での単位取得や就職、仕事で必要等）の場合、魔が差して、あるいは意図的に不正行為に至る方も少なからずいるのではないかと感じました。その点で、不正行為の防止を受験者の良心に委ねるのは危険で、予算や工数面でのハードルもあり簡単ではないと思いますが、仕組み・技術面での不正防止の措置があるとよいと思いました。</p> <p>また、不正行為により平均点が上がり、実際の難易度よりも合格ラインが上がり、結果として不正行為を働かなかった受験者に不利益が生じることを懸念しています。その点は、不正行為があったことも想定し、点数のデータが問題の難易度と直結しないことも踏まえて、合格基準をご検討いただけますと幸いです。</p>
<p>試験期間が長すぎると思います。今回の日程なら毎日試験問題を変えた方が、不正行為対策になるのではないのでしょうか。個人的には、決められた1日だけで十分です。</p> <p>➡ 毎日試験問題を変えるのはとんでもない手間とシステム設定費用（数百万円）がかかります。また、異なった問題セットごとに集計し直し、異なった合格基準点を設定しなくてはなりません。毎日試験問題を変えるのは当検定のような、年間予算が2,000万円に遥か届かない極小組織(スタッフ1-2名)では全く不可能です。</p>
<p>もうこの不公平な試験は受験しない。お金の無駄となり、不快でした。</p>
<p>オンライン試験はあまり薦めません。カンニングは必ずあると思います。自由にやることはできるので。</p> <p>ただし自分のスキルの問題なのでカンニングして合格してもそのレベルに達しているとは思えません。</p>
<p>不正行為は、真剣に取り組んでる人はしないと思います。従来合格率と鑑みて際立って高くなってたら怪しいかもしれませんが。</p> <p>カンニングはやろうと思えばできるような環境です。EX：辞書を見る等・・・</p>
<p>WEBでありながら、受験者の素行を監視していないのではありませんか？WEBであるのであればWEBカメラを活用すべきだと思います。</p>
<p>カンニングについては、受験することに必死でどの程度の影響があったかは分からないが、逆に問題を難化させ、何を見ても良いとして、実施するののも一つの方法かと思われる。</p>
<p>真面目に受けることが馬鹿を見る様なやり方はあんまり良くない気がする</p>
<p>オンライン受験だと不正やろうとしたら、身代わり受験だって可能。だけど、そんなことでも本人は何の利点もないし、自己責任。実際に市場でイタリア語能力を示して得るって1級や2級ですから、インチキやっていたら、そこの2次試験で化けの皮剥かれるし、3級以下だとオンライン受験ってのは決して試験の基盤が揺らぐことはないと思います。</p>
<p>オンラインの良いところは、咳をしたり、飲み物を飲んだりするのは良いが、リスニング試験中にトラックなど大きな車が通り、一時的に聞き取りにくいことが起こるなどは自己責任なので、自己責任ってどうなのか？と思った。</p> <p>最初から最後までカンニングをしようと思えば合格する？かもしれませんが、時間が限られているので、ピンポイントでカンニングするのは効率が良くないのであまりする人はいないのではないかな？</p> <p>合格資格が会場とオンラインと一緒に、同等となると、上記のことから不公平感を感じるので、そこを何度も熟考する、データを取って分析調査するなどして、同等なのか？別とするのか？1級と2級は会場受験しか行わないなど、クリアにさせていただきたいと思う。</p>
<p>コロナで運営等厳しいとは思いますが、存続してってください。</p> <p>微力ながら、大好きなイタリアなので、応援させていただきます。</p> <p>➡ 1級と2級をオンライン化する予定は全くありません。実会場との資格差別化として、オンラインの場合は「実用イタリア語検定IBT」としております。</p>
<p>➡ 不正行為と、それによる点数の底上げが気がかりだし、伊検の信頼を損なうのでは、という趣旨のご意見を80件中9件ほど頂戴しました。主催者としては、皆さんの良心に訴え、不正受験者はいたとしても極めて少数であると信じることは現状ではできません。仮初めの資格を取得しても、後になって恥をかくのは本人ですし、不正合格して、いったい嬉しいのでしょうか。また、カンニングなどしていたら時間切れになるのは明らかです。</p> <p>「カメラによる監視はできないのか」というご指摘について：</p> <p>3名ほどの方からそのようなご指摘がありました。受験者の周囲と動作・視線の動きなどを監視する方式は現在2種類あります。1つは有人監視。もう1つはAI監視（目の動きなどをAIで判定し、監視員に通知する）です。いずれも、監視システムの利用料金だけで（決済や点数集計・結果表示など一連の試験運用処理を含まない）1受験者あたり1時間7,000円前後が相場となっています。視角を広げて手元も監視するには広角カメラを使用する必要がありますが、カメラのレンタル料と送料が3,000～4,000円かかります。また、監視員を募集し、そのスケジュールと受験者の希望受験時刻を事務局で調整し、スケジュールを受験者に個別に連絡し、適切な人数の監視員を配備し、人件費も支払わなくてはなりません。監視員1名で8人程度監視するとして、同時に100人を監視するには12名以上同時刻に要員を手配する必要があります。受験者1,000名として、監視員の人件費だけで300万円ほどになります。受験者一人当たり平均3,000円です。</p> <p>総合すると、受験者の動向を監視するには、5級でも受験料は15,000円を遥か超えることとなります。英語の大型検定などでは監視システムを導入しているケースが増えていますが、専用システムの構築に億単位の開発費を投じ、運用単価もほとんど数量割引している筈です。資産・年間予算が200～300億円を超える組織だからこそ可能なことで、私どものような零細検定に望まれてもとても無理なことです。</p>

<p>ヒアリングの途中でカーソルが動かなくなり回答出来ない問題があった。その後も少しあったり、問題と問題の間でなぜか音声がおフになっていて聞けなかったことが2回あった。こちらのPCの問題なのかもしれないけど、オンラインだと試験が始まってしまったらどうすることもできないので怖いと思う。出来ればこの先もオンラインで受けたいのですが、、 なにか救済策があると嬉しいです。ちなみにデモは直前にもやりましたが問題ありませんでした。わかった問題が未回答になってしまって、また、動揺して集中出来ず悔しいです。</p>
<p>まだ経験がありませんが、二次の面接をzoom等でやる手はあるのではないのでしょうか。いずれにせよ、わたしは途中で画面が変になり、助けを求めようにもどうにもなりませんでした。</p>
<p>➡ パソコンや通信回線に一時的に問題が発生し、先に進めなくなった場合は、完ぺきなものではありませんが救済策をご用意したいと思います。中断した時点の画面を復元し再スタートする機能となる予定ですが、様々な要因が絡みますので、動作を100%保証することはできません。次回の実施前には、回復方法や手順を公式サイトでご説明する予定です。なお、この秋の検定試験から、イタリア会場受験者の二次面接試験はZoomで実施する予定です。</p>
<p>IBTにも無料で合格証明書を発行していただきたい。</p>
<p>現在、国外在住なので、今回オンラインで受験出来たのは有り難かったです。ただ、合格した場合、自動的に合格証書が頂けないのが、残念です。</p>
<p>試験終了後、本当はもう少し早く解答がほしい。</p>
<p>文法問題など、自分の回答を（後日可能となっています）、終了後直ぐに確認したかったものもありました。</p>
<p>➡ システムにその機能が無く、従来発行・郵送していた合格認定証や結果通知が作成できなかったのは残念であり、申し訳なく思います。せめてダウンロードできるように、と努力したのですが、実現するには莫大な費用がかかるので諦めざるを得ませんでした。特に、ローマ字の氏名を記録する項目がデータベースに無いのが致命的でした。他の200近い検定と共用のデータベース・システムを利用しており、一部を改変するだけでも信じられないコストがかかるのです。</p>
<p>➡ 悪用対策のため、試験期間中に解答や正解を発表することは絶対にできません。紙試験の場合も同じですが、試験終了後に「検証委員」が正解のチェックを行ってから発表しています。また、極めて稀なケースですが、試験中や試験直後に「この問題には正解が2つあるのではないか」という疑問が寄せられることもあります。従って、本番直後に正解の発表をすることはできません。どうしても最低一両日の確認期間が必要となりますので、ご了承ください。今回はなんとか本番終了の翌日に発表することができましたが、これが限界です。</p>
<p>過去問題を繰り返して復習しました。サンプルが豊富にあって助かります</p>
<p>過去問ツールを沢山やってたのですが、本番は違いました。難しかったです。特にリスニング、全部聞いた後少し考える時間がほしいです。筆記は考える時間がちょうどよいくらいありました。過去問ツールはすごくいい勉強方法でした。あれは本当にありがたかったです。コロナで電車に乗るのが怖かったので、オンライン受験は助かりました。リアル受験をいつかやるとは思います。リスニングの音量とか自分で変えられないのでちょっと心配です。残り時間の表示場所がわかりやすくよかったです。</p>
<p>不正者は居なかったと思いたい。大好きなイタリア語なので。そろそろ検定受けてみようかなと思ったらオンラインだったが、自分の空き時間で受けれたのが良かった。試験はよく咳払いやイスを動かす音が会場に響くが、その問題がないのが最高。ただ、初の試験ということで、公式ホームページにあった過去問がとても役に立った。どういう流れでリスニング(音が鳴って2回目が流れる等)されるのか、とか。</p>
<p>➡ 公式サイトの学習ツールをご活用いただけて嬉しいです。特に無料サンプルは呆れるほど豊富だったでしょう？伊検に限らず、受験前に過去問をやるのは基本中の基本ですよ。他にも同様のご意見の方がいらしたので、リスニングの次の設問までのポーズは、次回はもっと長くするつもりです。</p>
<p>遠方から交通費をかけて受験する必要がない点はオンラインの良さだと思うが、どちらか選べと言われたら、自分はやはりオフライン受験を選ぶと思う。</p>
<p>会場試験のほうがよい</p>
<p>次回からは会場で紙で受験したいです。</p>
<p>人間の行動原理からして、たとえ一部ではあっても一定の割合でカンニングをする人が出ることがむしろ自然で、問題は真面目に受けた方が不利益を被らないことかと思えます。カンニングのために合格点が底上げされないかそれが心配です。特に作文は別枠で時間制限設けてほしいです。文法問題では、おそらくカンニングを予想して、単語や熟語の知識問題が減っていたと感じました。語彙のない私にはそれは結果的に有利に働いたかとは思いますが。真面目な日本人対象とは言え、一定の割合の不正受検は避けられない、すなわち不正ゼロは無理だと思えます。次回からは会場受検を希望します。</p>
<p>オンライン化の良し悪しは難しい問題かと思いますが、信頼性を保つ、と言う観点では会場で行うのが1番かと思えます。</p>
<p>イタリア語検定は個人的に実力試しの場として使わせていただいていますので、カンニングをしたところで意味がありません。そういう方のほうが多いのではないかなと思っています。ただ、やはり紙の試験のほうが試験を受けている実感があったのも確かです。</p>
<p>過去問をオンライン試験として料金をとって公開する、というような形があれば利用したいです。</p>
<p>➡ 「試験」形式ではありませんが、過去問をe-ラーニングで配布しております。</p>
<p>➡ こうしたご批判を受けることを覚悟の上でオンライン化に踏み切りました。会場試験を続けた場合、2年後には数百万の個人負債を抱えてNPO法人を解散することになる、という財政上の理由です。秋は会場試験ですので、ご都合がつかうでしたらぜひご参加ください。</p>
<p>なお、「時間が足りなかった」「時間が余った」「他の問題と時間を振り替えたかった」などのクレームが沸騰するでしょうし、開発費を費やして試験システムを別途構築しなくてはならないので、作文を別枠にすることは不可能です。</p>

初めてイタリア語検定を受けて、少しでも自分の可能性を感じることができました。Arrivederci
コロナ禍で、試験地から遠い（一泊二日が必須）のため、受験のチャンスができたことはありがたかったです。趣味で始めたイタリア語ですので、不正して受かったとしても、私にとっては、意味のないことです。今の自分のレベルの確認が目的です。
スムーズに回答できました。受験できる環境を整えて下さりありがとうございます。
私の周りには、イタリアについて私以上に興味を持って学んでいながら、残念な事に対人恐怖症や醜形障害を持っていたり、より深い精神的な面から実会場に行けず受験に臨めない方がいます。受験者としても、今後さらに多くの方に検定を受けていただきたいので、様々なタイプの人に対応出来る様、実会場試験とオンライン試験を併用していただくと幸いです（問題作成者にはご苦労をおかけしてしまうかもしれませんが、）。
➡ 現在のところ、春はオンライン、秋は実会場で実施する予定です。
オンラインで受けられると全国、全世界の人々が参加できるので、メリットは大きいと思う。また、ある程度の試験期間があるので、二つ以上のレベルを受験される方には、良いと思う。作文に関しては、手書きじゃないので、やり易いが、絵を見ながら、書けないので、いちいちスクロールしながら書くのは面倒だし、原稿を作れば、それを見ながら、打つのも結構目が疲れと思う。
また、例え過去問題をやったとしても、同じ問題は出ない訳で、日頃から各分野の勉強をかなりしていないと短時間で、正しい答えを見出すのは、難しいので、結果、オンラインでも概ね問題はないと思われる。
感染状況が悪化した場合でも中止とならないこと、長い時間家を空けなくてもよいこと、複数級を違う日に受験できることがありがたかったです。初めての試みで何かとご苦労もあったかと思いますが、今回検定を実施していただきありがとうございます。
初めてのオンライン試験だったのですが、楽しんで受験させて頂きました。ありがとうございます。
不正はしようと思えばできますが、語学検定を受ける人は自分の実力を知りたいから受けるのだと思うので、不正することは少ないのではないかと思います。どこでもいつでも受けられるというのは、受けやすくてよかったです。
スマホや辞書、参考書などが近くにある環境での受験で不正への誘惑はありうと思ったが、実際に問題と取り組んでみると、そんなことをしている時間はないと感じた。
➡ 仰る通りだと思います。
受験の2日前に、東北地方で大きな地震があったのでオンライン受験が出来る様になり、本当に良かったと思う。ほかにも受験地に居住していない者にとって、交通費や宿泊費、時間などで公平になったと思う、受験しやすくなった。また、任意の時間で受けれるので、静かな時間帯など選べた点や、試験会場での音や温度、伝染病の感染リスクなどのストレスから解放されて良かった。
職場の指示で、対面式の研修等は参加しないように注意されているため、オンラインであったからこそ受験できた。
コロナ禍で各種検定試験が窮地に陥るなか、イタリア語検定ではオンライン試験をきちんと計画・実行して下さったことに感謝します。前は岡山まで泊りがけでの受験でしたが、田舎にいながらにして受験できたこともとても良かったです。ありがとうございます。
オンラインでの受験は、操作面や画面をずっと集中して見続けることの疲労感、受けにくさ（パソコン等のトラブルを含めて）、読み落とし、見直しがしにくいのではないかなどかなりの不安を持って受けましたが、想像していた以上に受けやすかったです。特に「後で見直す」のチェックができたことや、進捗状況の一覧表示はとても有難く感じました。こちらはペーパーよりも見落としが少なかったように思います。
好きな時間に受けられてありがたい。リスニングも聞き取りやすく、今後も是非選択肢として残してほしい。感染症対策としても優れている。
試験会場まで往復5～6時間かかる地方に住んでいるので、数年に1回でもオンラインで実施して下さると、大変嬉しいです。よろしくお願いします。今回の試験は、とても楽しかったです。
自宅での受験であっても、かなりの緊張感と充実感がありました。
コロナが明けた後も、毎回でなくてもいいのでオンライン試験が実施されると受験しやすいと思いました。
地方在住だとコロナ禍でなくても試験を受けられないことも多いので、今後も年一回オンラインだと助かります。
この度はオンライン開催にご尽力いただき、ありがとうございます。コロナ禍になってから、県を跨いで移動が容易ではなくなり、2年間受験を断念しておりましたので、今回のオンライン試験は本当に感謝しています。
事務局の皆様におかれましては、オンライン試験に関する不正等についての問い合わせ対応に大変苦労されていたことと存じます。個人的にはイタリア語が好きで勉強したり試験を受けたりしているので、不正行為に関しては本人のモラルの問題かと思えます（もちろん私はカンニングなどしません）。
今後もオンライン試験がある場合は、自分のイタリア語能力を維持するため、また、取得していない級をコンプリートするために、参加したいと思えます。
今年の秋の通常試験については、コロナの状況に左右されますが、是非参加したいと思えます。
繰り返しとなりますが、この度はオンライン試験を開催いただき、誠にありがとうございました！
とてもいい経験をしたと思っています。今後どうなるかわかりませんが、会場とオンラインと選択できたらいいなと思っています（準備が大変だと思いますが・・・）お疲れ様でした。
➡ すみません。会場とオンラインを同時に運営する体力が私にはありません。涙

オンラインのほうが時間的にも手間が省けていいと思います。今後もオンラインを希望します。
出かけられないときにも受験できると勉強のモチベーションは上がるので、オンライン受験は続けて欲しいです。
期間が長く設けられていたので忙しい時期であったが受験することができた。
従来の受験地からは遠い地方に住んでいても、今回このような形で受験の機会を得ることができ、大変ありがたく思っています。また、解答や正解を開示して下さることも、結果に対して納得ができ、復習にもなるのでありがたいです。試験前日に突然パソコンの調子が悪くなり、かなり焦りました。結果的にはなんとか無事受験できましたが、自宅でのオンライン受験にはこのようなリスクもあるのだと痛感しました。なかなか会場まで行けない身としては、これからもオンラインでの試験実施を継続して下されば、勉強の励みになります。
会場にいかずに、スキマ時間でやれて、乳幼児の育児や、妊娠してる身としてはとてもありがたかったし、リラックスしてできた。
2級より上を会場受験のみにしているのはいい判断だと思う。
皆を信じてこの試験を行う、という強いメッセージ性を感じました。他の試験とは違うこの姿勢を今後も続けてほしいです
PCでの作文に抵抗はありましたが、むしろ良かったと思います。よい機会でした。というのも、実用を考えると、手書きよりもキーボードで打つほうが圧倒的に多いでしょうから。手書きよりもアクセントの向き等は意識できたと思います。
個人的には次がオンラインでも受けたいと思いますー。よい機会でした。ありがとうございました！次も頑張ります♪運営の方大変でしょうが頑張ってください。なんや書きましたが全面的に応援しています！
今回、画期的なオンライン試験を受験させていただき、とても感謝いたします。コロナや地震の心配がなく受験できたのは自宅でのオンライン受験のおかげです。自宅の近くに受験会場がないので、移動する時間と交通費がかからなかったのも非常に良かったです。できればまたオンライン試験を受験したいです。
私にとってイタリア語検定は学習した自分の力を測りたいという気持ちで受けているので、このような社会情勢の中、機会を与えていただいたことにとても感謝しています。まだまだ学習を頑張りたいので実会場でも、またオンラインでもどうぞよろしくお祈りします
オンライン受験はペーパー試験より実力の差が明確に出るように思うし、ペーパー試験よりハードルが高い。
検定場所が遠いので今回交通費の負担なく受験できて助かりました！
自身の学習の成果をみるためにも、検定試験が年2回あることは有意義と感じます。また、オンライン受験によって全国の人に受験機会を与えられ、仲間が増えるのも嬉しいことです。一方で会場受験も緊迫感があり、年1回は実施させていただきたく存じます。
これまで試験会場が遠いことから、受験を考えたことがありませんでした。以前から習ってみたいとは思っていたのですが、地元の大学の公開講座や社会人サークルには、イタリア語を扱うものがなく、検定を受けられないからという理由で、勉強すること自体を諦めていました。今回オンラインでも受験できると知り、独学が続くかどうか自信がなかったのですが、まずは試験まで勉強してみようと、勉強すること自体のきっかけ・モチベーションにも繋がりました。オンライン受験ができるようになったことが、本当にありがたいです。
さて、えーと…何から述べましょう。まず、イタリア語およびイタリア語検定という目標を私に与えてくださり、感謝しています。大げさでなく、私の人生に生きる希望が生まれました。
今回、受けたのは一番下の5級でしたが、それでも受かっているかどうかわかりません。ですが、合格でも不合格でも、この先もずっと語学の勉強を続けたいと思います。その源は、「イタリアが好きだ。」という一点につきます。ここ10年ほどはそのことを忘れて生きていましたが、そのことを思い出させてくれたイタリア語検定協会様に、感謝の意を述べさせていただきます。m()m
➡「オンラインで良かった。これからも続けて欲しい。」「会場から遠いので、やっと今回初めて受験できた」「問題無く、快適に受験できた」という趣旨のご感想を80件中38件も頂戴しました。主催者として嬉しい限りですし、皆様のイタリア・イタリア語への熱い思いが伝わって参りました。こうしたお言葉を力に、問題の表示方法や受験マニュアルの改善に努めます。
海外の住所で登録出来なかったので日本にいる家族の住所を使ったが、海外の住所でも登録できるようにしてほしい。
➡特に海外の住所入力欄は設けておりませんが、現在の住所入力欄に海外のご住所をご記入いただいても結構です。なお、当方から海外に郵便物を発送することはありません。

以上です。貴重なご意見の数々に改めて御礼申し上げますとともに、次回に反映させていただきたいと考えております。